



人権作文

町内小学生



人権とは、辞書で調べると、「人間が生まれたときからもっている、生命・自由・平等などが、保たれる権利」という意味です。

私は、人権ということを考えたことがあまりなかったけど、いじめはだめだと思います。例えば、差別などで、人をいじめたりすることは、人の心を深くきずつけたりすると思います。

ニュースなどでは、遊びでやったり、かげ口をいったりすると、人の命をうばうかもしれないといっていました。あとでこうかいしても、命は取りもどせない、たったひとつの大切なものです。

弱いものは、強いものにいじめられ、人の心を苦しめることもあるかもしれません。言葉もいじめになるかもしれません。しゃべるときは、きずつけない言い方で発言するようにします。

いじめられた人の、家族や友だちもきずつきます。学校にもいきたくなくなり、だれも信じられなくなります。だから、いじめはだれにとつてもいやなことなのでやめましょう。

人にされていやなことは、他の人に、しないようにして、みんなで仲良く楽しい、いじめのない世界にしたいと私は思います。

もし、いじめをしたら、それから返ってくると思います、いじめは絶対にしないようにしましょう。

※原文を一部修正しています。



永年の貢献に感謝状

6月30日付けで町の人権擁護委員を退任した西川平吾さん(花立花)に、町長から感謝状が贈呈されました。西川さんは、平成18年4月から12年3か月という永い間、町民の人権意識の高揚と人権問題解決に尽力し、町の人権啓発に多大な貢献をされました。



▲永年活躍された西川さん